

桑高祭と体育祭

今年の桑高祭は9月7日(金)午前中に舞台発表が桑名市民会館で行われ、8日(土)は全日にわたり校内で開催され、一般公開された。私は8日午後に見学した。数年ほど前に来たことがあるが、その時の印象では、やたらと食べ物の店が多かった。今年も同じように食べ物の店が多くて、展示が少ない。それでも衛生看護科が加わったので、「身体測定」の会場もある。



『桑高百年』(百周年記念誌)を調べてみると、従来からの文化祭が昭和48(1973)年から桑高祭と改称された。従来は食べ物の店(模擬店)が食物クラブにのみ認められていたが、同年からクラス単位でも認められ、この年には3年13組にのみ認められた。それ以来食べ物の店が盛んになり、展示が少なくなったようだ。

開催時期は昭和60年までは10月であったが、昭和61年から9月20日すぎとなった。さらに平成16(2004)年から9月10日前後となって、共通一次試験・センター試験さらに週休2日制、2学期制などによって、だんだんと早くなり、暑い時期となった。

さて、会場をブラブラと歩いてみたが、魅力的なところがない。PTAが経営しているカフェに入りたいと思ったが、1人では入りにくいと躊躇している時に、同窓会事業担当理事の上田さんと出会ったので、意を強くして2人で入った。ソフトドリンク1杯100円、マドレーヌが200円である。そこへ広報担当理事の福田さんも入ってきて、3人で来年は同窓会で「うどん部屋」を経営しようという話が盛り上がった。

全日制の「うどん部屋」を調べてみると、昭和31年9月からである。なるほど私が卒業したのは昭和30年3月であるから、昼の「うどん部屋」にはお世話にならなかった。しかし、私の在学時代には定時制にあった。私は生徒自治会の仕事や、写真部の部活で遅くなった時に、時々食べさせてもらった。

9月14日(金)に体育祭があった。あやしげな天候であったが、まずまずの天候である。朝早くから音楽が我が家にも響いてくる。8時50分ころに出かけた。来賓席が設けられているが、ブラスバンドの演奏席になっている。そのバンド演奏によって入場行進が始まった。プラカードを持った2人に続いて、校旗が続く。私も3年生の時に校旗を持って行進したが、その時の校旗は普段は校長室に飾ってある重たい校旗であった。今は軽い応援旗だ。しかし旗が風に揺れて重たそうだった。



各クラスごとの入場行進が始まる。競技ごとに採点されるが、入場行進も採点の対象なので、本部席の前で、思い思いのパフォーマンスを披露する。披露したあとは、どのクラスも、照れくさそうに苦笑している。

入場行進が終わると開式宣言や校長先生のあいさつ、選手宣誓があり、開会式が終了したので、ブラスバンドは引き上げて、来賓席が空いた。私の他に来賓らしい姿が見られぬと思っていたら、PTAの母親たちが10人余り集まってきた。小学校の運動会とは違って、さすがにビデオを写していないが、携帯で時々写真を撮っている。

最初の100メートル走を見る。衛生看護科のクラスのみ女子は2人ずつ出ている。何故かと考えたら、殆どが女子なので、男子の競技には参加できないから、女子がダブル出場して得点の機会を二つ与えている。

ここまで見て帰宅した。

一時雨が降ったが、大したこともなく経過した。私はキセルをして、午後は最後の「ダンス」を見に行った。いくつかのサークルができて、フォークダンスでも始まると思ったら、エアロビクスのようなダンスである。男子も女子も同じようになって、跳んだり、走ったり、過激な運動である。或る先生が曰く「今は大和撫子はいませんよ、ナデシコジャパンです」と。アンコールが2度あり、担任の先生を引っ張り込み、さらには校長先生も加わって、校庭は砂ほこりが舞い上がった。

ダンスを見ていて、まるで保育園の運動会みたいだと感じたが、閉会式で校長先生は曰く、桑高祭のテーマに「ワイルドだぜー」とあったが、今日はワイルドでなくて「チャイルド」になったと。

(2012.09.16)